



## JICA ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト



写真（左→右）：法月正太郎（チーフアドバイザー）、Dr. Consity Mwale（ルサカ州保健局長）、Ms. Frazier Musonda（ルサカ州次官補）、徳橋和彦（JICAザンビア事務所長）、Hon. Sheal Mulyata（ルサカ州大臣）、Mr. Elias Kamang（ルサカ州次官）、田中沙恵（JICAザンビア事務所企画調査員）、Mr. Mukupa Malama（JICAザンビア事務所）、原隆（業務調整員）

JICAルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクトは、ルサカ郡の5つの総合病院に25台の酸素濃縮器(ZMW875,000相当)を供与

プロジェクトは、引き続きCOVID-19第4波に備えた活動を続けます

プロジェクトでは、コミュニケーションおよびプロジェクトアシスタントオフィサーの2人のナショナルスタッフを雇用しました

フォトフォーカス  
連絡先



# JICA-ルサカ郡病院運営 管理能力強化プロジェクト は、ルサカの5つの総合病 院に25台の酸素濃縮器を 供与

Covid-19ウイルスにどう対峙すべきかは、アフリカにとって大きな課題であり、ザンビアにおいても同様です。これは、多くの施設において病院設備や人的資源が限られていることが主な原因です。



**2**021年5月、国際協力機構(JICA)は、ルサカ地区の総合病院の管理能力を強化するという新しい技術協力プロジェクトを開始しました。プロジェクトの目的は、病院運営管理、感染管理(Covid-19を含む)、医療機器・薬剤の供給と在庫管理、および5つの病院(チャワマ、チパタ、チレンジェ、カニヤマ、マテロ)間と郡・州保健局、保健省の連携により、病院管理の能力を強化することです。

プロジェクトの目標に則り、COVID-19緊急支援の一

環として、最大10Lまでの酸素を投与できる酸素濃縮器25台(875,000 ZMW、156万円相当)を供与しました。各酸素濃縮器は同時に2名の患者に投与できる能力を備えていることから、合計50人の患者に酸素投与が可能となります。酸素が必要な患者さんが数多くおられたことから、現場のニーズに基づく支援です。JICAザンビアの徳橋所長は、2021年9月21日にHon.Sheal Mulyataルサカ州大臣に濃縮器を紹介。引渡し式で、徳橋所長は病院職員の努力を称賛した上で、人間の安全保障に基づきJICAが引き続き保健省とのパートナーシップを強化し、強靱な保健システムの構築を進めることを約束しました。

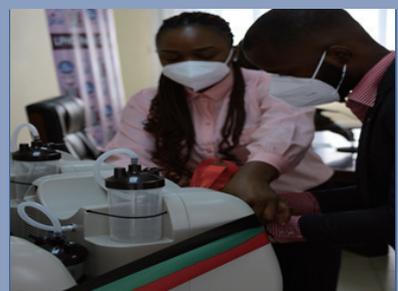
ルサカ州大臣は、JICAと日本人々が保健セクターやその他の開発課題を継続的に支援してくれたことに感謝しました。大臣は病院のスタッフに対し、酸素濃縮器が有効に活用され、大切に扱うよう指示しました。これは、ヒチレマ新政権のコロナ戦略に合致するものであったからです。



2021年9月21日の供与式でスピーチをするHon.Sheal Mulyataルサカ州大臣



供与式では、プロジェクトのチーフアドバイザーである法月正太郎氏と業務調整の原隆氏が出席



プロジェクトに採用されたナショナルスタッフ：広報担当のMutuna Musonda氏とアシスタントのSiangoma Siankuku氏

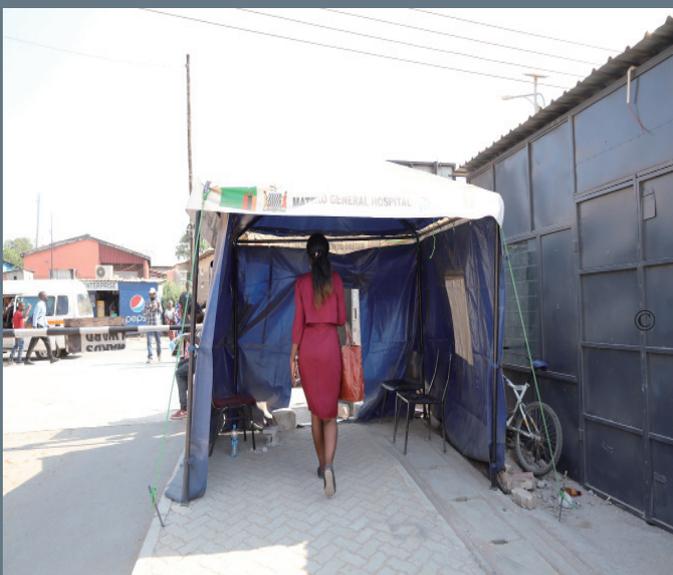
## JICAルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクトは、引き続き5つの総合病院へのCOVID-19第4波への支援を続けます

ザンビアでCOVID-19第4波が襲うかどうかは未知数です。しかし、その影響をできるだけ減らし十分な準備を行うために、本プロジェクトは、体温計、酸素飽和度計、スクリーニングのためのテント、看板を供与し、技術的なトレーニングを行うことで、総合病院の医療の質を向上する支援を続けていきます。



法月正太郎医師 マテロ総合病院のコロナ検査テントの前にて(2021年9月27日)

### フォトフォーカス- マテロ



プロジェクトをもっと知るために

連絡先

法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト チーフアドバイザー  
住所：Plot No.11743A, Brenwood Lane, Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka, 10101, ZAMBIA

E-mail: [cassiopeia.project.zm@gmail.com](mailto:cassiopeia.project.zm@gmail.com)

Website: <https://www.jica.go.jp/project/english/zambia/023/index.html>